

家庭菜園



南部営農センター 園芸課
営農主幹 検校 哲也



Q 年末にいただいた鉢の花を、
長持ちさせたいのですが、
気を付ける点がありますか？

A シクラメンやシンビジウム
など、大掃除の仕上げに
飾ると、より気分よく正月を迎え
られます。

冬は花の少ない時季です。そんな
時こそ、鉢花を長く楽しみたいもの
です。

寒さに強い花もありますが、シクラ
メン、シンビジウムは最低でも
5℃を保ってください。10℃あれば
安心です。耐えないことはないです
が、ポインセチアやプリンセチア、
アンスリウムは10℃以上は暖かく
して育てたいです。

気を付けるのは、置き場所です。
日当たりが大事ですが、玄関は意外
と寒いものです。暖かい居間に移し
ましょう。でも、窓辺のガラスのそ
ばは冷えます。昼間は日が当たって
よいのですが、夜になったら窓辺か
ら離しましょう。

また、乾燥にも注意します。加湿

機を使ったり霧吹きで葉水して水分
を与えてください。エアコンの風は
厳禁です。

寒くなつていくにつれて土が乾か
なくなり、植物もお休み状態に
なり、洗濯物が乾きにくくなるよう
に低温で水の蒸発も減ります。土が
湿った状態が続くようになりますの
で、水やりは不要です。

水やりの基本は、①土の表面が乾
いたら、②鉢底からあふれるくらい
たっぷり、③葉や花に水がかから
ないように、水を与えます。

土の表面が乾いてないのに、習慣
で水やりをしていませんか。冷たい
水が鉢の底にたまってしまつては、
寒さの中で植物がかわいそうです。
それは、根腐れの原因になります。
乾くまでは水やり休止です。

水をあげすぎてしまったら、土を
乾かします。受け皿を外し、鉢底に
風を通すように、レンガなどで鉢の
下に空間を作ってください。日当た
りが良く、風が通る場所に置いて、
土が乾燥するまで待ちます。乾いた
ら、たっぷり水やりをしてください。

オンライン
農業塾は
コチラ



管内の
病害虫情報は
コチラ



家庭菜園
情報は
コチラ



咲き切った花からは、摘みます。

シクラメンは、花茎の根元から手
でねじり抜き
ます(写真1)。

ついでに、黄色
くなった葉も
株元から抜き
取ります。

写真1



シンビジウムも、花茎の根元から
ハサミで切り取ります(写真2)。早
めに切つて花びんに活けてもいいで
しょう。

鉢花のほとんどは室内で楽しみ
ますが、寒さに強い花もあります。
ミニバラは、マイナス5℃でも耐え
ます。

写真2

